

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7200 番
99.5.6 No. 4958

新たな動労千葉破壊攻撃のエスカレート

千葉県警による動力車会館への 4・25 不当捜索を弾劾する!

(一)

4月26日、千葉県警は動力車会館に対して三時間以上に及ぶ不当な家宅捜索を強行した。「容疑」は、一年も前に発生した松戸市での「ゲリラ事件」を口実としたものであった。

これは、国家権力による正当な労働組合運動に対する断じて許すことのできない不当弾圧であり、闘う労働組合を根絶しようとする意図に貫かれた攻撃である。言うまでもなく、「ゲリラ事件」は動労千葉とは何の関係もないものである。県警もそのことを百も承知の上で、弾圧のための弾圧としてこの捜索を強行したのである。

われわれは不当弾圧を怒りを込めて弾劾するとともに、どのような弾圧にも断じて屈せずに関わつづけることを明らかにする。

(二)

今回の不当捜索が、極めて政治的に準備されたものであることは明らかだ。われわれは、この弾圧を国家権力による組織破壊攻撃のエスカレートとしてとらえ、これと徹底して闘う決意である。

何よりも今回の不当捜索の特徴は、われわれが組織をあげて闘いぬいていた船橋・勝浦市議選の翌朝に強行されたことにある。千葉県警は統一地方選挙闘争さなかに捜索礼状を請求し、直ちに動労千葉弾圧にのりだす準備を進めていたということだ。

しかも千葉県警は、船橋で選挙運動への不当な介入を行い、支持者に対して「中江は一七〇〇票で落選する」と恫喝をして歩いていくことが明らかになっている。裏で中江候補の落選を画策し、その

翌日に動労千葉への弾圧を加え、動労千葉破壊を狙うという極めて政治的な意図に貫かれた攻撃だったのである。

(三)

さらにこの捜索は、新安保ガイドライン関連法の衆院可決と一体の不当弾圧に他ならない。国家権力は、翌日4月27日にガイドライン関連法の衆院可決を強行するという情勢を睨んで、その予防弾圧としてこの不当捜索を強行したのである。ここには、ガイドライン関連法の戦争法案としての本質が如実に示されている。「戦争のできる国家」として日本が登場するために闘う労働組合、闘う労働運動の存在自体を認めないという意志に貫かれた攻撃である。

支配階級は、国鉄闘争の勝利と、労働運動の新しい潮流―闘う労働組合の全国ネットワークをめざすわれわれの取り組みが大きく前進し、また動労千葉もその一翼を担う日米ガイドラインと有事立法に反対する百万人署名運動が大きな広がりをもつて取り組まれていることに對し、この運動を力づくの弾圧でおし潰そうと狙っているのだ。

(四)

われわれは、このような不当弾圧に對しては運動の一層大きな発展をもつて応える決意である。何よりもわれわれは「中江落選」という権力側の願望をはね返した。そして今後も国鉄闘争の勝利、戦争政策粉砕に向けて、闘う労働運動を甦らせるために闘いつづける決意である。

一九九九年四月二五日

国鉄千葉動力車労働組合

夏季物販スタート

全国の仲間たちに国鉄闘争 の勝利と闘う労働組合のネ ットワーク創りを訴えよう

て原点にかえった闘いの方針を求めて苦闘していることを全国の仲間たちに伝えなければならぬ。

闘うネットワークを

さらには、失業率四・八%―三三九万人という、資本主義体制の出口なき危機―大失業時代に抗して、闘う労働運動の新しい出発点を築く闘いとして99年夏季物販を取り組む必要がある。国会では戦争法案が成立しようとしている情勢だ。動労千葉への期待の声もこれまでになく高まっている。われわれの物販運動は、品物を販売するという以上に、闘いの指針を求める全国の仲間たちと共に闘うネットワークを創りあげてゆく運動だ。物販運動の課題は大きい。全力で夏季物販運動をやりぬこう。

船橋・勝浦市議選勝利の余韻もさめやらぬ4月26日、全支部物販担当者会議が開催された。5月中旬より99夏季物販がスタートする。

これまでになく重要

国労が「国鉄改革法の承認」を臨時全国大会で決定するという状況のなかで、今回の物販オルグはこれまでにも増して重要な取り組みとなつている。この間国鉄闘争に惜しみない支援をつづけてくれた全国の仲間たちは、国鉄闘争の現状と今後の展望に深い憂慮の念もつて見ていることは間違いない。

われわれは、一〇四七名の解雇撤回・原職復帰に向けてあくまでも闘いつづける。国労の仲間たちも、闘争団を先頭に現場の組合員は、その圧倒的多数が国鉄改革法など承認してはいないこと、そし



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!